なな山だより
５６号
2022年10月9日　なな山緑地の会発行

宮崎さんへの追悼とこれからのなな山

中山 茂樹

なな山緑地の会での活動は、私にとっては勝手気ままなものでした。それは昨年の 4 月から宮崎さんが会長になり、私も幹事に名を連ねることになっても大きくは変わりませんでした。それが昨年末宮崎さんと庄子さんが入院したことで、すっかり状況が変わってしまいました。

宮崎さんは倉庫を繋ぐ屋根の修理や部材の折れた熊手を集めて直す人というような凡そ会長らしからぬ人でしたが、コロナ禍で消毒液を設置したり熱中症対策に気を配ったりと、会長として会員の健康管理に気を配っていた人でした。退院後も的確な判断をして会を引っ張ってくれていました。

退院後は、再入院を繰り返しながら体調が許せば活動に参加される意志の強い人でした。そんな姿に甘えて会長を続けて頂きました。申し訳なかった気持ちもありますが、告別式では、なな山の山野草の花束を胸に抱えて旅立たれました。ご冥福を祈りいたします。

その後、長く会長不在の状態が続いたのですが、ようやく九月から新体制が動き出しました。私自身は、会長代行からそのまま会長になっているだけだと考えています。何も変わらないと考えています。

初級講座で植物の説明をする宮﨑さん

とは言っても、この四月から天野さん、飯田さん、山田さんの三人が幹事に加わり、八月末には役員改選の手続きをして宇野さんにも幹事に加わって頂きました。一時はどうなるのかと不安に思った時期もありますが、これから先も長く期待できそうな体制が整っていると考えています。

幹事が増えたことにより大きく役員の構成が変わることになりましたが、元々、一人一人の力が集まってなな山での活動が継続され維持されて来たものと考えています。多少考えが誓ってもそれを包含するような力がなな山にはあると思います。愉しく、安全に、話し合いながら、これからも活動が続けていきましょう。

なな山植物誌

オオカモメヅル　大鴎蔓、・コバノカモメヅル　小葉鴎蔓
キョウチクトウ科

植物探しの第二弾になります。

『なな山緑地の植物』に写真があるのですが、植物標本を集める頃には全く見られなくなってしまったのがオオカモメヅルです。名前からは何やら壮大な感じを受けますが、薄暗い林床でひっそり 3～4 ミリの花をつけるツル植物です。新しい分類で、ガガイモ科からキョウチクトウ科になりました。

コバノカモメヅルの花

毎年梅雨時にオニドコロやヒメドコロ、ヘクソカズラが伸びてヤマユリに絡みついてきます。中の谷あたりで実をつけているワニグチソウのまわりのそれらのツルを除去していました。蒸し暑さ、ハチ、蚊に悩まされながらツルを手繰り寄せ、切ったり抜いたりを繰り返していると「おっと」と手が止まりました。なな山で見るのは久しぶりのオオカモメヅルの小さな花です。

オオカモメヅルの実

それが 3 年前のこと、花からツノかクチバシのようなしっかりした実が出来ます。それからは別の場所でも見られるようになり、今年は 3 ヶ所に増えました。昨年からは仲間のコバノカモメヅルがバス通りの緑地帯に出現、こちらは暗紫色の花が印象的な様子です。

この春には東の山で、アサギマダラという蝶の食草として有名なキジョランも確認され、5 月のほんの数日間でしたがオオカモメヅルの葉にもそれぞれアサギマダラの幼虫が見つかり、今後が期待されます。（水倉）

多摩市市制施行 50 周年記念 感謝状

このたび多摩市より感謝状を頂きました！この感謝状は教育分野とのことで、教育委員会からの推薦があったようです。なな山緑地の会が定例活動日の他に、これまで続けてきた保育園、小学校、中学校、大学などの教育機関等での観察会、工作、遊び場の提供など、イベントでの協力・支援してきた結果頂けた。　なな山緑地の会の活動自体は、もうすぐ 20 周年を迎えようとしていますが、これからも引き続き次の世代に里山の良さを伝えていく努力が大切だと感じました。

鶴牧南小学校　実生の苗作り

＜5月～8月になな山緑地で開催されたイベント＞

イベントの詳細はなな山緑地の会活動報告ブログをご参照ください。

5月7日(土) なな山緑地の希少植物観察会　三方の森ふれんど・東寺方児童館

雨予報だったのが晴に変わり、天候にも恵まれた日でした。今回、初参加の親子は本格的な里山に入ることに驚いている様子でした。学童クラブの子供たちからは、「キンランギンランという名前を覚えられた。」や赤い木の実がトマトの味がした」「お外で赤い木の実を食べて、お口の中でパティーが始まった。」「ドクダミの葉っぱが毒の匂いがした」「いい匂いの葉っぱがあってびっくりした。」などの感想がきけました。

なな山緑地の会の方が里山を案内してくれる時、子どもたちが見つけた植物に対して教えていただいたり、途中で里山の斜面を駆け上がらせて下さったので楽しみながら、なな山緑地の植物を学ぶことができました。

シロツメクサの飾りを作る

子どもたちが大人の手を取り一緒に散策する姿も見られ、微笑ましかったです。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。（東寺方児童館）

5月20日(金) 帝京大学教育学部フィールドワーク「多摩の里山と人の営み」

6月10日(金) 府中市明星小学校校外学習　里山散策・木工体験

8月31日(水) 大妻女子大学なな山緑地フィールドワーク

シイタケの説明を聞く（帝京大）

丸太切りに挑戦（明星小学校）

ヒンメリ製作（大妻女子大）

コロナ禍での出会い

多摩市に来て４年、ほとんど地域の事を知りませんでした。コロナにより自粛生活となり、交通機関を使っての外出は、ためらわれる様になりました。元々ウォーキングを楽しんでいた私は近くの神社へのお参りと散歩を始めました。これも外出ではありましたが、ほとんど人に会う事なく、私の散歩はどんどん広がりました。お陰様で、大分多摩市を知ることができました。

なな山の前も通りましたが、中に入って良いものか迷いウロウロして入れず通り過ぎました。２月のある日、高幡不動への散歩の途中、なな山が開いていたので勇気を出して声掛け、それが入会のきっかけとなりました。

中山さんの「何しても良いよ」の言葉、だんだん解ってきました。相田さんの素晴らしい案内には感動(その時は作業の邪魔をしてしまっているのではないかと申し訳ない気持ちでしたが)。日々何げなく声を掛けて下さる正岡さんに居心地の良さを感じ、他の方々にも少しずついろいろ教えていただき参加する事ができるようになりました。

なな山での最初の出会いはハリギリ。あそこにも、ここにも幼木が目につく。根絶やしにと思い、三角（鍬）を使って根迄掘り起こしました。着生したばかりの幼木はズルズルと抜けますが、地上部を何度か刈られた根は太く、頑張って掘っても取りきれません。ああ、ここから又芽が出てくるんだろうなあ。掘り起こす意味はあるのかなあ、とも思ってしまいました。でもまあ、せっかく始めたのだから、暫く様子を見ていきましょう。（K.M）

上級救命救急再講習を受講して

７月１６日(土)多摩消防署にて上級救命の再講習が行われました。グリーンボランティア講座中級で受講していて、有効期限は３年。更新のための再講習です。２０１９年に受講して以来、３ 年ぶりの講習内容は忘れていることも多く、再講習の必要性を感じました。

今回はコロナ感染症対策の為、以前の様にチームでの実習はありませんが、デモ用の人形を一人一体使い、しっかり実習できました。

救命処置として、心肺蘇生方法、AED による除細動、気道異物除去。その他の応急手当（ファーストエイド）は止血法、外傷の応急手当等、３時間ほどの講習でしたが、中身の濃い内容でした。

心肺蘇生（CRP）

① 胸骨圧迫（30 回）＋人工呼吸（2 回）を繰り返す。※人工呼吸は感染予防等によ　り実施しなくてもよい

② AED による除細動　入電源後は音声のメッセージどおりに行動する。

なな山近隣のＡＥＤの設置場所は、百草団地の交番(24 時間対応)、三方の森ふれんど(休館日：第 2.4 月曜日、年末年始)、おふろの王様（年中無休たまに臨時休館あり)。

「傷病者が発生した場合、その場に居合わせた人が応急手当を速やかに行えば、傷病者の救命効果が向上し、治療の経過にも良い影響を与えます。」テキストより

上級救命講習はどなたでも受講することができます。興味のある方は「東京消防庁 上級救命講習」で検索もしくは QR コードで検索してください。(飯田)

なな山日記（活動・観察記録）

No. 432　2022年5月8日(日) 曇時々晴　気温 24℃
参加者　18名

イチゴが盗穫され、皆がっかりした。
● 作業/ハチトラップの作製と設置、カシナガトラップの再生と設置、シノダケ整備等。
● 観察/コクラン、フタリシズカ。

No. 433　2022年5月22日(日) 曇のち晴　気温 21℃
参加者　17名

活動記録の担当者を山田さんが引き継いだ。
● 作業/カシナガトラップの補修、除伐・整理、カボチャの棚づくり、法面の刈払い。
● 観察/サイハイラン、ワニグチソウ。

No. 434　2022年6月12日(日) 晴後小雨　気温24℃
参加者16名

昼食後、突然の雷雨となりそのまま活動修了となった。
● 作業/シイタケ、ナメコの本伏せ、草刈り、機材整備、ダイコン、玉ねぎ、ニラ、ウメの収穫。

No. 435　2022年6月26日(日)　快晴　気温　33℃
参加者　15名

梅雨とは思えないほど暑い一日だった。
● 作業/法面草刈り、畑に刈草の敷き込み。
● 観察/アキノタムラソウ、オカトラノオ、ヒメオウギズイセン

No. 436　2022年7月10日(日)　快晴　気温29. 7℃
参加者　18名

宮﨑会長がご逝去され、なな山の花と共に旅立たれた。
● 作業/飛び地の草刈り、蜂トラップ回収と計測、畑（施肥等）、ヤマユリの管理。
● 観察/ブラックベリー、ヤマユリ。

No. 437　2022年7月24日(日)　晴　気温31. 9℃
参加者　16名

大玉スイカの試食。
甘くておいしかった。
● 作業/植樹エリアの整理、スイカ畑柵製作、ニラ収穫、今後について意見交換会。
● 観察/アメリカオニアザミ、ヤブミョウガ。

No. 438　2022年8月14日(日)　晴　気温29. 6℃
参加者　16名

多摩市市制施行５０周年記念、教育部門に貢献したとなな山緑地の会が表彰された。
● 作業/刈払い、カボチャ、スイカ収穫、法面草刈り。
● 観察/ツリガネニンジン、フヨウ。

No. 439　2022年9月4日(日)晴　気温28. 2℃
参加者　16名

本日は８/28 の振替活動。カエンタケが発生、注意しながら観察。
● 作業/桜倒木の片付け。スイカ後片付け、希少植物の養生、カエンタケ観察、ナラ枯れ調査。
● 観察/カエンタケ、ヤブラン。

編集後記

宮﨑さん。真面目を絵にかいたような方でした。地味にコツコツと活動しておられました。一時退院の時にトイレの水道を直してくださいました。熊手も修理してくださいました。あなたがクリップで作ってくださったぶんぶんゴマに糸を通す道具、今も持っています。最後にお宅に伺い、お別れするとき手を握ると、思いがけない強い力で握り返してこられたあの時の感触、今でも思い出します。ご冥福を心からお祈り申し上げます。　K

なな山だより　第56号　2022年10月9日発行

発　　行	なな山緑地の会
発行責任者	中山 茂樹
住　　所	東京都多摩市和田 1336-1
ホームページ	https://nanayamaryokuti.jimdofree.com/
編集委員	鎌田 文雄・飯田 歩